

シンポジウムの開催について

1. シンポジウムの開催について

■3月5日、エジプト・ザガジック大学およびスーダン・ゲジラ大学より研究者を招へいし、「Environmental Pollution and Food Safety in Africa」のタイトルのもと、獣医学研究科（講堂）にてシンポジウムを開催した（14：00～17：30）。シンポジウムのトピックは環境汚染に関わるものであり、アフリカでの汚染の現状や、アフリカで現在展開されている国際共同サーベイランスなどに関する発表が行われた。シンポジウムには北海道大学・獣医学部の他、工学部やザンビア大学の研究者なども参加し、講演を行った。

■ザガジック大学およびゲジラ大学からの参加者

- ・ Prof. Alaa Eldin Mohamed Ali Morshdy (Zagazig Univ. 前学部長、Head, Food Safety)
- ・ Prof. Elsaid Abozeid Eldaly (Zagazig Univ. Head, Food Safety)
- ・ Prof. Ahmed Elsadek Hegazy (Zagazig Univ. Head, Avian disease)
- ・ Prof. Mahdy AbdelGawad AbelKader (Zagazig Univ. 学部長、Environmental Veterinary Science)
- ・ Prof. Nabli H.H. Bashir (Gezira Univ.)

■シンポジウムでは、現在の汚染に対して情報共有をしたほか、今後どのような研究調査や対策が必要か、などの意見交換が行われた。

2. 学部間協定の締結などについて

■3月6日、ザガジック大学およびゲジラ大学研究者らと獣医学研究科長および副研究科長、国際交流委員会委員長らと、研究科長室にて面談が実施された。



■ザガジック大学研究者らとの面談（10：30～11：00）では、ザガジック大学獣医学部と北海道大学獣医学部間における学部間協定が締結された。

■ゲジラ大学（11：00～11：30）とは、現在、研究科が進めている先端研究拠点事業アジアアフリカ型等への協力について話し合われた。